

鳥取東高通信

題字：柴山 抱海 氏

第 186 号
令和 3 年 7 月

編集・発行
鳥取東高等学校 PTA
鳥取県立鳥取東高等学校
印刷 日ノ丸印刷株式会社



ボート部女子



放送部

高校総体・各種大会



チームライフル部

未来へ



空手



フェンシング



テニス部女子



水泳部



いまだからこそ明るい応援に

PTA副会長 澤田 ひろ子

コロナ禍の中、皆様はいかがお過ごしでしょうか。
行事もやむを得ず見合わせるなど縮小傾向の時節に、開催の機会を得られた行事にはより深く良いものであつて欲しいと考えます。

そのためにはお世話になる役員の皆様が主体性を持ち、ご自分の意見を述べスムーズに努力されることが出来る明るく温かい雰囲気づくりをしていきたいです。述べた意見が協力してかたちになると、役員皆様の活動への想いが喜びや充実感となり、その明るく良い雰囲気は高校生の皆さんにも伝わり学校全体も活性化すると想像します。たとえば、それが関わるひとつの専門部であつても「どう行動されるのが心地よいのか？」など配慮し明るく前向きに取り組む姿勢を持つ事で、ささやかながら皆様の気持ちのよい活動のお手伝いとなればと思います。

コロナ禍の現代であるからこそPTAが前向きに取り組む姿勢を持つ事で、高校生の皆さんを励まし、明るく努力される日々を過ごす応援になればと思います。
執行部副会長を賜り非常な緊張は隠せませんが、執行部・専門部・PTA保護者様方・先生方・高校生皆様方から謙虚に意見を伺い、微力ながら力になれるよう努力していきたいです。一年間どうぞよろしくお願い致します。



東高生に期待すること

教頭 平尾 淳一

あるとき、十六歳の少年が次のような疑問をもちました。「光を光速度で追いかけると、光は静止して見えるのだろうか？」この突飛な疑問について、少年は身につけていた物理学の知識により思考したもの、どうしても矛盾が生じ理解できませんでした。その答えに迫ることができたのは、彼が二十六歳のときでした。彼の名はアインシュタイン。この疑問は、のちに世界を大きく変えることになりました。

また、こんな疑問をもった人もいます。「線香花火はなぜあんな風に燃えるのだろうか？」今から九十六年前、東京帝国大学の寺田寅彦は、その美しさと不思議な燃え方に興味をもち研究を行いました。しかし、当時はその仕組みを詳しく調べることはできませんでした。

さまざまな疑問や課題は、身近な出来事の中に溢れています。例えば、「新型コロナウイルスの感染拡大はどうすれば防げたのだろうか？」この課題はさまざま視点で考えられます。生物学、医学・医療、政治、経済、国際関係、情報、人流・物流など。このような疑問や課題は、答えが一つとは限らないし、明確な答えはないかもしれませんが、しかし、あなたなりの仮説を立てて、それを支持する・しないに関わらずあらゆる情報を集め考察していくことは、これからの社会ではとても重要な活動です。

線香花火のあの燃え方が詳しくわかったのは、寺田の研究から九十年以上経った二〇一七年のことです。ただ、すべてが解明されたわけではなく、未だわからないこともあるといえます。

さて、あなたは今どんな疑問をもっているでしょうか？



文化広報部

部長 山本 賢璋

今年も一味違う文化広報部となるべく、カメラ片手に走り回り東高通信を手にした方に喜んでもらえることを目標とします。

コロナ禍において昨年同様、制限ある活動となることが予想されますが、「出来ないからやらない」ではなく「出来ない中で出来る事！」を探しながら年4回(7月号・12月号・3月号・4月号)東高通信を発行します。

東高創立100周年の節目を来年迎えるにあたり、東高通信発行が歴史の1ページへの布石となるように心がけます。

至る所に「広報部」の腕章をつけた広報部員が出没しますが、その際は快く写真撮影に応じていただきますようよろしくお願いします。



研修部

部長 羽田 裕充

研修部では今年度、① 保護者のための進路セミナー と、② 大学訪問 の2つの行事の実施を活動目標にしています。

① は、各学年ごとに実施します。親子で進路を考える機会になればと思います。

② は、鳥取大学と公立鳥取環境大学の2校を訪問する予定です。

部員一同の励みになるので、多くの皆さんの参加をお待ちしています。よろしくお願いします。

令和3年度

P T A 専 門 部 紹 介



健康・生活部

部長 橋本 正幸

健康・生活部はここ数年「食」に特化したテーマで活動。昨年度はコロナの影響がある中、できる範囲で工夫を凝らして活動してきました。

今年度は思い切って食から離れ、「心と身体の健康」をテーマに活動します。

高校時代は、多くの子どもたちにとって最も多感な時期、活動を通して心身共に何かを感じて貰えるきっかけ作りができたと思います。

役員さんに極力負担をかけず、中身のあるものとするため、既存のイベントへの参加も視野に入れながら皆さんにご案内していこうと考えています。

一年間、よろしくお願いいたします。



人権教育部

部長 谷口 雅美智

昨年度に引き続き人権教育部長を拝命しました谷口です。何卒よろしくお願いいたします。

昨年発生した新型コロナウイルスの猛威は止まることを知らず、変異株の増殖により収束が見通せない状況ですが、国民全体へのワクチン接種が速やかに行われ、明るい社会が戻ってくることを願っています。

このような状況下、本年度の人権教育部員の皆様とともに、おのれ自身の為に、周りの皆様の為に、何ができるのか、何をしていくべきなのかを、楽しく学んでいく活動に取り組んでいきたいと思っていますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



人権こうむ

虹のしっぽ

本年3月11日で、東日本大震災の発生から10年を迎えました。被災地の住宅再建やまちづくりに関わる事業が進んできてはいますが、今なお約4万人の避難者数とのことで、完全復興が見通せるのはまだ先ようです。

『こころ』はだれにも見えないけれど、『こころづかい』は見える。『思い』は見えないけれど、『思いやり』はだれにでも見える。』

東日本大震災以降、テレビのCM（ACジャパン）で流れているもので、詩人で作詞家の宮澤章二さんが作られた「行為の意味」という詩の抜粋です。

被害に遭われ、大変な悲しみを抱え、厳しい避難所生活を強いられている多くの皆さんへの「思い」を、私たち一人ひとりがしっかりと胸に刻むとともに、その「思い」をしっかりと形「行動」に表していくことが大切なのだとということを教えてくれています。

このコロナ禍で、不安と恐怖、隔離がもたらすストレス、偏見と差別、情報のもたらす社会不安が蔓延しています。

今一度、「行為の意味」という詩を思い起こし、私たちが今何ができるのか、何をすべきなのかを考え行動していきたいものです！（人権教育部 部長 谷口 雅美智）

*人権こうむ「虹のしっぽ」について

虹にしっぽなんてあるわけないけど決めつけなくて…。もしもあるなら見つけてみたい。考えるだけで楽しい気分になりますか？

健康・生活部

Column

PTA、楽しんで活動を

突然自宅に役員依頼の電話が掛かり、子どもがお世話になってるんだから1回ぐらいは引き受けなれよと思い、言われるままこの部の配属となりました。

役員決めでは、何もわからないのに結果的に部長をすることになり、高校のPTA活動に全く関わっていなかった自分は一から勉強です。

前部長さんと昨年度部員経験のある本年度の副部長さんたちに過去の経緯を聞くと、このコロナ禍で例年の食をテーマにした行事はかなり制限があるとのこと…。

話し合いの結果、今年のテーマは「心と身体の健康」となりました。

今までの事ができないなら、できることをやれば良い！むしろ“今まで”にとらわれず、部の趣旨に照らし合わせた上で今年の役員でやりたいことを楽しんでやる！それと同時に“テーマは単年度で完結”することも必要だと考えています。やりたいこともできることも、年度ごとのメンバーで違うはず。結果的に同じテーマを引き継ぐ事になることもあるでしょうが、基本は年々のメンバー（チーム）の個性が発揮できるテーマを掲げる。例年どおりではないことは不安もありますが、ワクワクもあります。

出合いは一期一会、皆さんとワクワクを共有できる一年にしたいと思います。（健康・生活部 部長 橋本 正幸）

令和3年度 鳥取東高等学校PTA常任評議員

役 職	氏 名	クラス
会 長 (百周年記念事業実行副委員長)	吉 澤 春 樹	2年3組
副会長	清 水 奈緒美	3年1組
副会長	伊 藤 憲 栄	2年4組
副会長	澤 田 ひろ子	2年4組
副会長 (百周年記念事業実行委員)	網 谷 憲 治	1年7組
監 査	菖 蒲 仁 志	3年6組
監 査	小田原 理一郎	2年4組
監 査	夏 目 貴 史	1年1組
文化広報部 部 長	山 本 賢 璋	3年4組
文化広報部 副部長	松 本 和 志	2年1組
文化広報部 副部長	倉 益 正 明	2年7組
研修部 部 長	羽 田 裕 充	3年2組
研修部 副部長	田 中 美果	3年5組
研修部 副部長	田 村 絵里子	1年7組
健康生活部 部 長	橋 本 正 幸	2年5組
健康生活部 副部長	森 本 敦 子	3年2・3組
健康生活部 副部長	山 下 恵梨子	2年3組
健康生活部 副部長	金 澤 裕 治	1年6組
人権教育部 部 長	谷 口 雅美智	2年3組
人権教育部 副部長	曲 ひさか	2年4組
人権教育部 副部長	池ノ内 善 美	1年2組

令和3年度 各種表彰者

感謝状贈呈

坂本 一美
監 査 (令和元・2年度)

福井 悦生
文化広報部 副部長 (令和元・2年度)

山根 正
研修部 副部長 (平成30年度)
研修部 部長 (令和元・2年度)

三橋由希子
人権教育部 副部長 (平成30・令和2年度)
人権教育部 部長 (令和元年度)

県高P連会長表彰

安岡 裕明
副会長 (令和元・2年度)

高校総体・各種大会結果

2021年5月・6月

陸上部

- 男子4×100mR 第5位 **中国大会出場**
- 男子4×400mR 第6位 **中国大会出場**
- 戸田 哉汰(3-6): 男子八種競技 第1位 **中国大会出場**
- 安東潤一郎(3-1): 男子3000m障害 第4位 **中国大会出場**
- 中嶋 武琉(2-2): 男子円盤投 第3位 **中国大会出場**
- 男子砲丸投 第4位 **中国大会出場**
- 國岡 拓海(2-1): 男子やり投 第5位 **中国大会出場**
- 女子4×100mR 第8位
- 女子4×400mR 第8位
- 森本 結名(3-3): 女子3000m 第5位 **中国大会出場**
- 女子1500m 第8位
- 原田 真暢(2-7): 女子400m 第4位 **中国大会出場**
- 細田 知花(2-1): 女子やり投 第6位 **中国大会出場**
- 女子砲丸投 第7位
- 女子円盤投 第8位
- 戸板 実穂(1-6): 女子七種競技 第3位 **中国大会出場**
- 女子走幅跳 第8位

《中国大会》・戸田 哉汰(3-6) 男子八種競技 第6位

MESSAGE 陸上部(短距離)の皆さんへ

遠距離通学、コロナ禍での練習や試合と、大変なことも多かったと思うけれど、多くの仲間やライバルと出会い、切磋琢磨し、最後までやりきったことを褒めてやりたい。親も夢や希望、そして生きる活力をもらった。現役の皆さんには、皆さんの「がんばる姿」に元気づけられている人がたくさんいることを忘れないで、今後も努力を続けてほしい。(保護者 岡崎浩一)

MESSAGE 陸上部(中・長距離)の皆さんへ

中三の駅伝練習から走る事の魅力に取り憑かれて以来、ひたむきに真面目に部活に取り組む姿を見せてくれました。走る事に対する向上心が強くなる程、コロナ禍で思う様に練習が出来ないもどかしさや、悩む日々もありました。でも、傍らにはいつも仲間がいて支えられ今があるのだと思います。お互いに叱咤激励しながら部活が出来た事は、息子にとってすばらしい宝物になりました。先生方、部員のみなさん、本当にありがとうございます。(保護者)



MESSAGE バスケットボール部 女子の皆さんへ

東高に入学して早2年が経ち、最後の高校総体を迎えようとしている。特にこの1年間はコロナに翻弄され、思うように遠征や練習ができない困難な状況。そんな中でも君たちは団結し、悩み苦しみながらも部活をやり抜き、大きく成長した。素晴らしい仲間と恵まれ、辛苦を共にした3年間はかけがえのないもの。最後の総体、悔いの残らないよう精一杯頑張れ! 保護者一同心から応援しています。(保護者 林 公彰)

- 女子 準優勝 決勝 62-82 (鳥取城北) **中国大会出場**
- 優秀選手 山増姫向乃(3-2)
- 《中国大会》1回戦 71-77 (神辺旭・広島)

バスケットボール部



MESSAGE バスケットボール部 男子の皆さんへ

3年間と言っても、なんだか一瞬だった高校バスケ生活でした。コロナ禍で思うように部活ができず苦しかったし、県総体は惨敗したけれど、優しくて愉快的な仲間と共に大きく成長した子ども達を誇りに思います。本当によく頑張ったね。支えてくださった全ての皆様、保護者同士のつながりにも感謝しています。ありがとうございます。(保護者 圓山紀子)

- 男子 ベスト8 準々決勝 67-71 (米子工)





MESSAGE ボート部女子の皆さんへ

入学後、部活動は未経験のボート部に迷いながらも入部を決め、毎日勉強と部活で一日が24時間では足りないのではないかなと思うような毎日でしたが、いい仲間との出会いがありとても充実した高校生活を送ることができました。高校生最後の県総体、残念ながら無観客。応援には行けませんが、自宅から応援してます。がんばれ鳥東ボート部!! (保護者)

MESSAGE ボート部男子の皆さんへ

夕日が沈む中、湖山池で何周も何周も必死にオールを漕ぐ姿を見かけ、初めての大会で真っ直ぐに進むことができてなくて苦戦していた姿が懐かしく思い出されました。一緒に汗を流しかげがえのない時を過ごした部員の皆さん、本当にお疲れさまでした。これからの人生でも目標を掲げ、努力を重ね成長していく姿を楽しみにしています。また、熱心に指導して下さった先生方、本当にありがとうございました。(保護者)



男子舵手付クオドルブル 第2位

山本 雄翔(3-1)・田中 利空(3-1)・中本 翔太(3-6)・
但井 柊斗(2-7)・澤 詠介(3-5)

男子ダブルスカル 第3位 田中 智也(3-4)・山本 乙稀(3-4)

男子シングルスカル 第3位 國本 知輝(2-7)、第4位 荒井 康佑(2-6)

女子舵手付クオドルブル 優勝 **全国大会出場**

小谷明日香(3-7)・紙原 末羽(3-5)・秋里 三実(3-3)・
平木 安寧(2-3)・渡邊 実羽(2-7)

女子ダブルスカル 第5位 升本 有紀(3-5)・池原 里奈(3-2)

女子シングルスカル 敗復第2位 小山 朋笑(3-1)

敗復第4位 高垣希来里(3-5)

ボート部



男子団体 1回戦 1-2(倉吉西)

男子ダブルス 中嶋 大貴(3-7)・安木 謙(3-3)ペア ベスト16 **中国大会出場**

房安 拳聖(3-5)・濱崎 大輝(3-1)ペア ベスト16 **中国大会出場**

丹羽 隆晟(3-1)・田中 晴登(3-1)ペア ベスト24 **中国大会出場**

女子団体 第3位 準決勝 0-2(米子東)

女子ダブルス 井手野夏希(3-3)・横山 智咲(2-4)ペア ベスト8 **中国大会出場**

中林 和花(2-7)・廣畑 亜衣(3-7)ペア ベスト16 **中国大会出場**

西根 菜奈(2-1)・谷口 愛佳(2-4)ペア ベスト24 **中国大会出場**



ソフトテニス部

MESSAGE ソフトテニス部男子の皆さんへ

「東高に行って、中国大会に出場する。」と中3の夏に宣言してから3年。学業と部活動の両立に苦労しながらも目標を達成できたのは、常に前向きに一緒に練習に打ち込んできた仲間のおかげであり、ご指導くださった先生方の支えがあったことだと思います。素晴らしい仲間に出会えたことに感謝し、それぞれが次の目標へと向かっていってください。ずっと応援しています。(保護者)

MESSAGE ソフトテニス部女子の皆さんへ

昨年から続く制限状況の中で、厳しい練習に励み、開催される貴重な試合に感謝し、成績を残してきたことと思います。部活を通じて仲間と共に過ごした3年間の様々な経験や思い出は、これからの人生の糧となるはずです。本当に3年間よく頑張りました。これからも皆さんの活躍を応援しています。(保護者 井手野友美子)



空手

女子組手 森原 咲(3-5) 準優勝 **全国大会出場**



フェンシング

女子エペ、フルーレ 八木 雪乃(3-3) 優勝 **全国大会出場**

男子フルーレ 竹田 大起(2-7) 準優勝 **全国大会出場**



テニス部

- 男子団体 1回戦 1-2 (米子高専)
- 男子シングルス 上野 大輔(3-4) 第3位
- 女子団体 準優勝 決勝 0-2(米子東)
- 女子シングルス 杉野 令来(3-1) 優勝 **全国大会出場**
- 女子ダブルス 須崎 葵唯(3-2) ベスト16
- 女子ダブルス 杉野 令来(3-1)・橋本 花恋(2-6)組 第3位
- 《中国大会》女子シングルス 杉野 令来(3-1) 1回戦 1-6 藤本(山陽女学園)
- 国民体育大会テニス競技少年の部鳥取県予選 女子シングルス 杉野 令来(3-1) 第2位 **国体出場**

MESSAGE テニス部男子の皆さんへ

「この一球は絶対無二の一球なり されば身心を挙げて一打すべし この一球一打に技を磨き体力を鍛へ 精神力を養ふべきなり この一打に今の自己を発揮すべしこれを庭球する心といふ」この福田雅之助氏の言葉にテニス選手の本懐が凝縮されています。テニスを通して得た経験を活かし、出会った仲間と生涯の友情を育て、コート上でもコート外でもフェアプレーを体得した立派なスポーツマンになってください。(保護者 上野正樹)

MESSAGE テニス部女子の皆さんへ

無事総体も終わりました。突然の部活動停止、総体延期とモチベーションを保つのが大変だったと思います。試合で頑張った人、応援を頑張った人、裏方でサポートしてくださった人。その努力は決して無駄にはなりませんし努力は嘘をつきません。胸を張ってチャレンジしてください。必ず次のステージで報われることでしょう。最後に部長を支えてくださった先生、副部長、部員の皆さん本当にありがとうございました。(保護者 杉野隆志)

卓球部

- 男子学校対抗 ベスト8
- 男子ダブルス 田中 翔(3-5)・野村 和生(3-7) ベスト8
- 男子シングルス 田中 翔(3-5) ベスト16
- 男子シングルス 野村 和生(3-7) ベスト32
- 女子学校対抗 予選リーグ2位
- 女子ダブルス 諸山 結(3-4)・山口 結生(1-7) ベスト16

MESSAGE 卓球部女子の皆さんへ

先日、入学したはずなのに早3年。何事もなく過ぎた1年生とは打って変わり、コロナ禍によって大会の中止や無観客試合、親としても応援も出来ず寂しい思いをしました。けれども、コロナ禍前の何事もなかった頃が当たり前ではなかったことに気づかされた今、自分の心の持ち方で未来が変わってゆく自覚を持ち、大切にしたいことを守りながら社会へ羽ばたいていくことを信じております。(保護者 網澤幹子(綾乃の母))

MESSAGE 卓球部男子の皆さんへ

思いがけないパンデミックで多くの我慢を強いられる高校生活となってしまいました。思うように練習できない中には部長という立場で思い悩むこともあったようですが、良きチームメイトに恵まれ、卓球を通して充実した高校生活を送ることができました。困難を乗り越え、努力したことは、今後の人生の糧となるはずです。後輩の皆さんのますますの活躍を願っております。感謝。(保護者 中澤美佳)

MESSAGE 弓道部の皆さんへ

中学生の時、袴姿に憧れて入部した弓道部。その集大成の時が近づいてきました。昨年、今年と新型コロナウイルスの影響で、思うように活動が出来ない時期もありましたが、無事に迎えることができ、関係者の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。弓道そして部活動を通して娘は沢山の事を学び、大切な仲間に出会えた事は大きな財産となりこれからの糧になるでしょう。完全燃焼し晴れやかな気持ちで次のステージに向かえるよう、あと少し私も全力でサポートしていきたいと思います。頑張ってください!(保護者 片山亜希)

弓道部